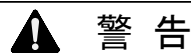


# ディスポーザ

D S P — 2 5 0 H D — A W V 型

## 施工説明書



この説明書を読んで理解するまでは、ディスポーザの据付けおよび試運を行わないでください。

この説明書は、ディスポーザの操作または保守・点検を行う場合、いつでも調べられるように大切に保管してください。

テラル株式会社

## 保証の限定

1. 保証期間中、正常なご使用にもかかわらず、テラル株式会社が納入した機械の設計、または工作の不備が原因で故障、破損が発生した場合に限り、その部分について無償で修理または交換をします。
2. 前項による補償範囲は、不具合部分の機械的保証までとし、その故障に起因する種々の出費およびその他の損害は補償しません。
3. 以下の故障、破損の修理は有償とさせていただきます。
  - (1) 故障、破損が当社の納入していない機器が原因で発生した場合
  - (2) 保証期間経過後の故障、破損
  - (3) 火災、天災地震等の災害および不可抗力による故障、破損
  - (4) 当社に承諾なしで実施された修理、改造による故障、破損
  - (5) 指定品以外の部品をご使用された場合の故障、破損
4. ディスポーザの誤用や乱用が原因で発生した損害についての責任は全く無いものとします。また、このことによる技術員の派遣費用は有償とさせていただきます。
5. 不具合の原因が不明確な場合は協議の上、処置を決定することとします。

## 本書の目的

本書の目的は、ディスポーザについて、正しい据付けおよび試運転方法を知って頂くために詳しい情報を提供することです。

また、本書はディスポーザの操作経験者または操作経験者から指導を受けた人を対象として製作しており、以下の情報を記載しております。また、配線工事は電気工事士等の資格を有する人に限定して実施してください。

## 目次



	(ページ)
保証の限定	1
本書の目的	2
目次	2
1. 安全について	
1. 1 警告用語の種類と意味	3
1. 2 安全に関する順守事項	3
2. ディスポーザの構成	5
3. 準備する工具	6
4. 据付け	
4. 1 吐出管(パッキン)の確認	7
4. 2 シンクフランジの取付け	8
4. 3 本体の取付け	9
4. 4 バキュームブレーカの取付け	10
4. 5 トラップの取付け	13
4. 6 配線の接続	14
5. 試運転	
5. 1 試運転前の確認	15
5. 2 試運転方法	15
6. 片付け	16

## 1. 安全について


### 1. 1 警告用語の種類と意味



据付説明書では、危険度の高さ（または事故の大きさ）に従って、次の2段階に分類しています。

以下の警告用語が持つ意味を理解し、本書の内容（指示）に従ってください。

警告用語	意 味
 <b>警 告</b>	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、死亡もしくは重傷を負うかもしれません。
 <b>注 意</b>	潜在する危険な状態を示し、手順や指示に従わないと、中・軽症を負う場合または機器・装置が損傷する場合に使用されます。

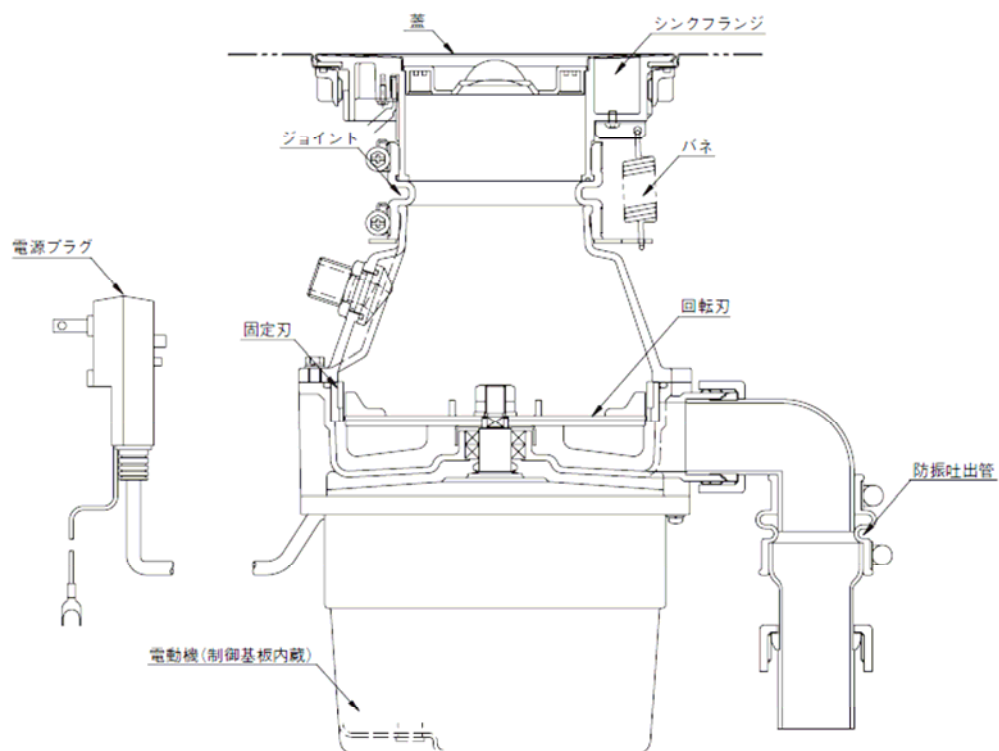
### 1. 2 安全に関する順守事項

	順守事項
 <b>警 告</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・据付けは、据付説明書に従って確実に行ってください。据付けが不完全な場合は、感電・火災・故障の原因になります。</li><li>・電気工事は、「電気設備に関する技術基準」、「内線規定」、および据付説明書に従って、電気工事士などの有資格者が施工してください。</li><li>・ケーブル類に無理な力をかけたり、加工したりしないでください。漏電・感電・火災の原因になります。</li><li>・アース線の接続を必ず行ってください。アース線は、ガス管、水道管、避雷針、電話のアースに接続しないでください。感電の原因になります。</li><li>・ディスプレイ本体や制御盤をぬらさないでください。漏電・感電の原因になります。</li><li>・ぬれた手で電源プラグの抜き差しをしないでください。感電の原因になります。</li></ul>

<div data-bbox="280 327 515 389" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  <span style="margin-left: 10px;"><b>警告</b></span> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ディスポーザ内部に手を入れるときは、下記に従ってください。 <ul style="list-style-type: none"> <li>①電源プラグをコンセントから抜く。</li> <li>②運転が停止していることを確認する。</li> <li>③厚手の手袋を着用する。</li> </ul> </li> <li>・ 設置終了後は、設置・配線が確実にできているか確認してください。設置が不完全な場合は、本体の落下などによるけがや、火災・感電・水漏れなどの原因になります。</li> </ul>
<div data-bbox="280 902 515 965" style="border: 1px solid black; padding: 5px; display: inline-block;">  <span style="margin-left: 10px;"><b>注意</b></span> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ シンクには60℃以上のお湯を連続的に流さないでください。配管の変形・劣化により水漏れの原因になります。</li> <li>・ ディスポーザの蓋は乱暴に扱わないでください。また落とすと破損することがあります。</li> <li>・ 配管内にごみを残さないでください。配管の詰まりの原因になります。</li> <li>・ 電源供給元には、必ず漏電遮断器を設置してください。漏電遮断器が取り付けられていないと感電の原因になることがあります。</li> <li>・ 通水後は、必ず各部の水漏れ確認をしてください。</li> </ul>

## 2. ディスポーザの構成

### ・各部の名称

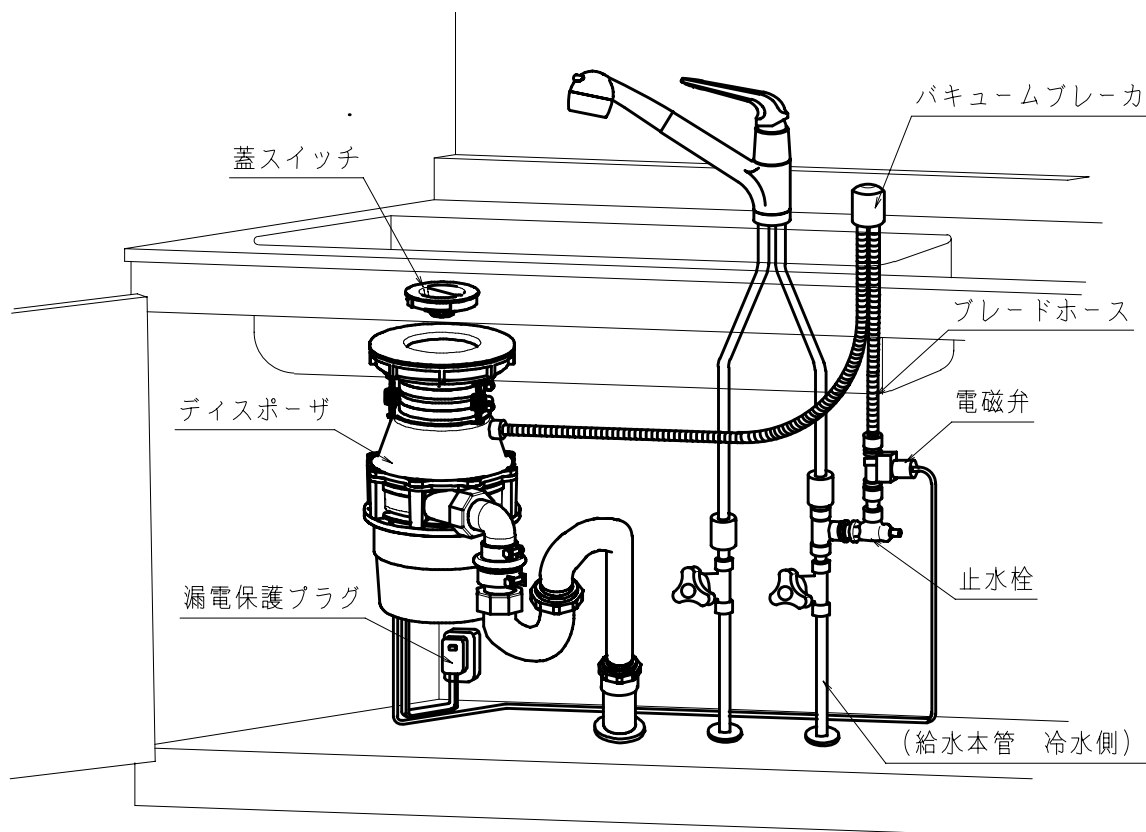


### ・付属品 :

- ・トラップ (Pトラップ、Sトラップのいずれか)
- ・電磁弁ケーブル (1 m)



## ・給水装置の構成



## 3. 準備する工具

### (1) ロックナット締付工具

推奨品：スギコ産業株式会社製 No. 150900106 大型用締付金具（樹脂製）



### (2) プラスドライバー

### (3) ジャッキ（自動車用の小型ジャッキ, ラボジャッキ LJ200 など）

### (4) 専用トルクレンチ（弊社が貸与するものを使用してください）

### (5) マーキング用治具 A, B（一体）（弊社が貸与するものを使用してください）

### (6) ワタチバント<sup>®</sup>（澤久工業株式会社製 CLIC-R）専用締付け用工具（ペンチ及びプライヤ代用可）

### (7) マジックペン（黒色）

### (8) 塩ビ用ノコギリ

### (9) ニッパー

### (10) ウェス

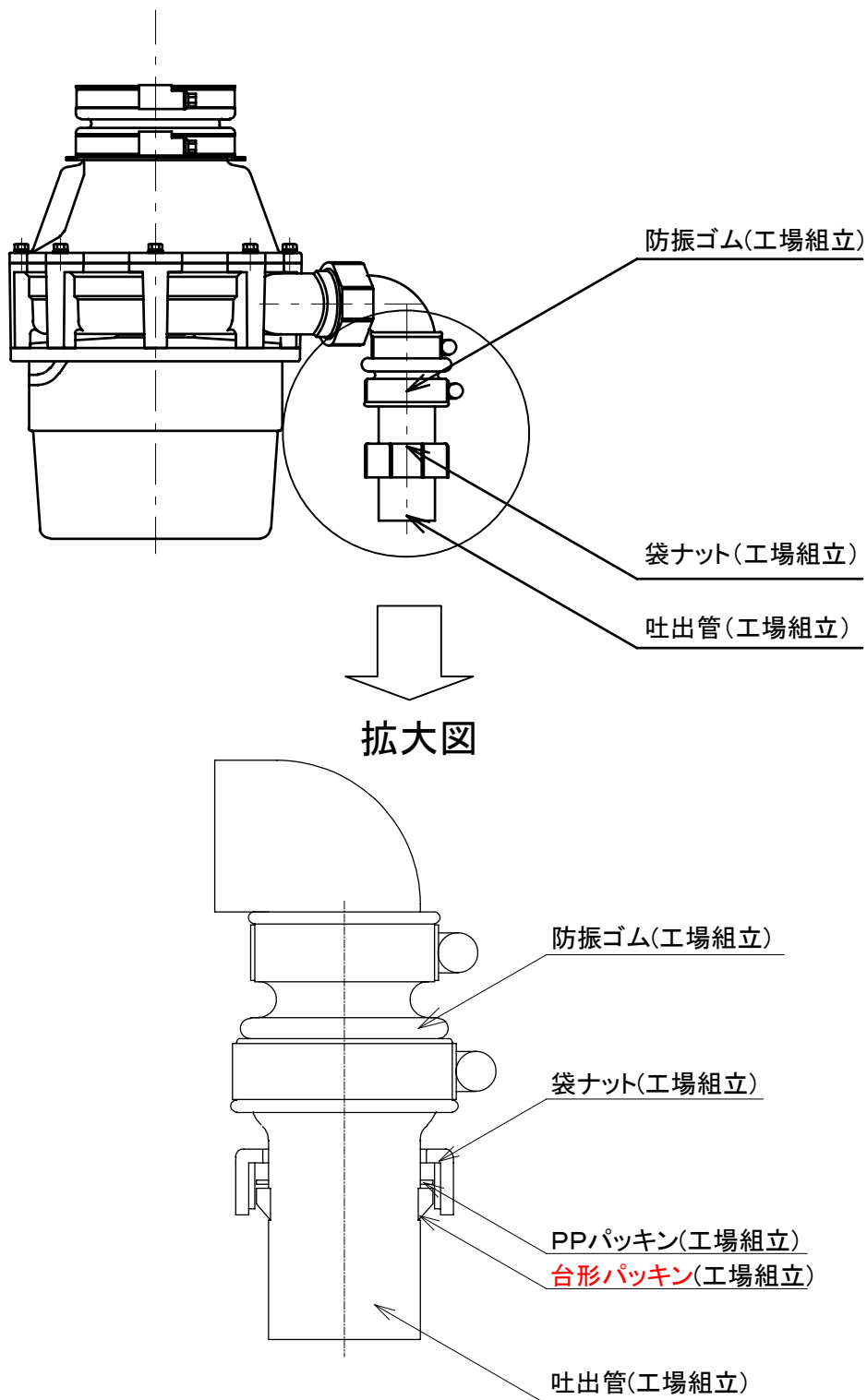
### (11) 毛布などの養生シート

## 4. 据付け

以下の手順で据付けを行ってください。

### 4. 1 吐出管（パッキン）の確認

吐出管(工場にて組立済み)の袋ナットの中に台形パッキンが入っていることを確認します。

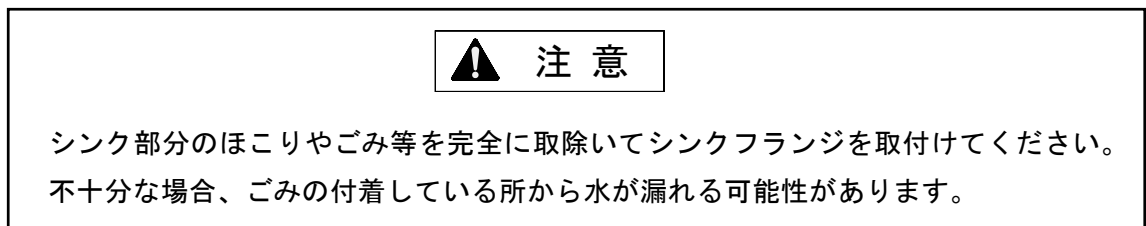
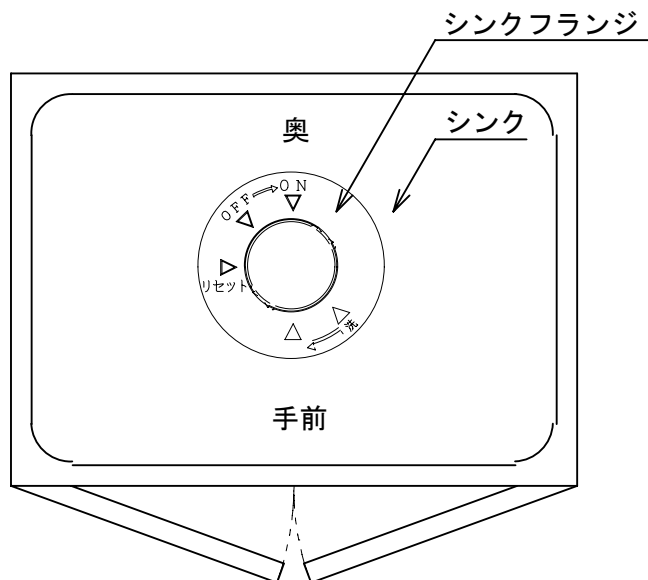
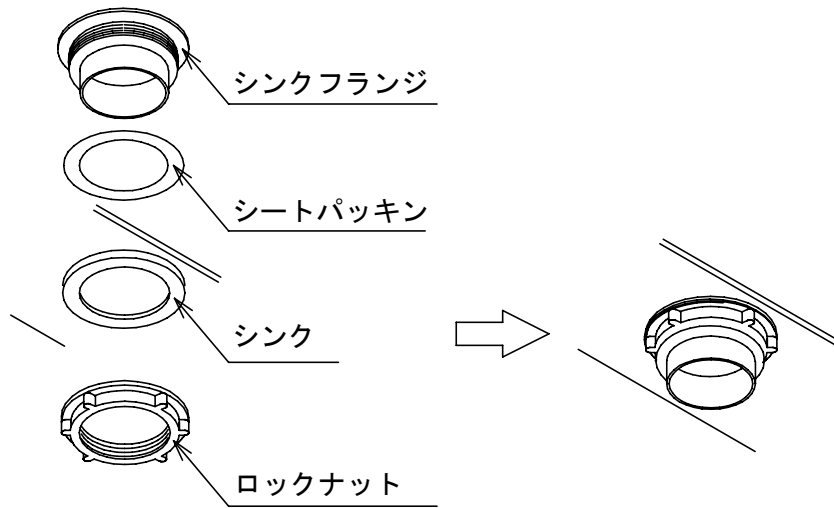
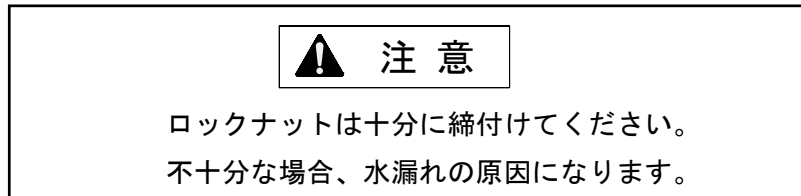


※台形パッキンは吐出管の溝にはまっていて、脱落しない構造になっています。



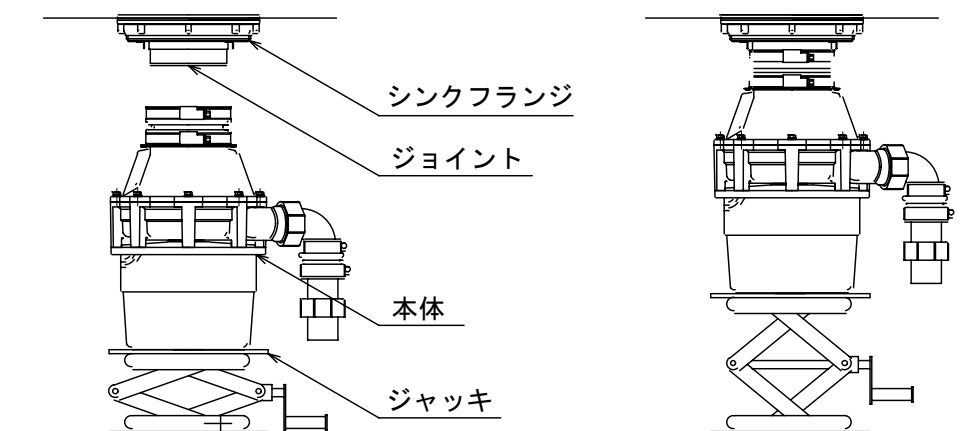
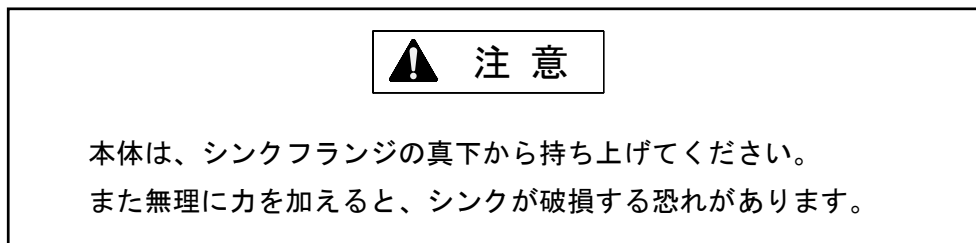
#### 4. 2 シンクフランジの取付け

- (1) シンクの、汚れやごみなどをウエス等で拭取ってください。
- (2) シンクフランジ、パッキンにごみが付着していないことを確認してください。  
シンクフランジとシンクの間にはシートパッキンをはさみ、ロックナットを締めてください。
- (3) シンクフランジの『ON』の印がシンクの正面奥側になるように取付けます。
- (4) シートパッキンがめくれたり、はみ出したりしていないことを確認し、専用の締付工具を使ってロックナットを確実に締付けてください。

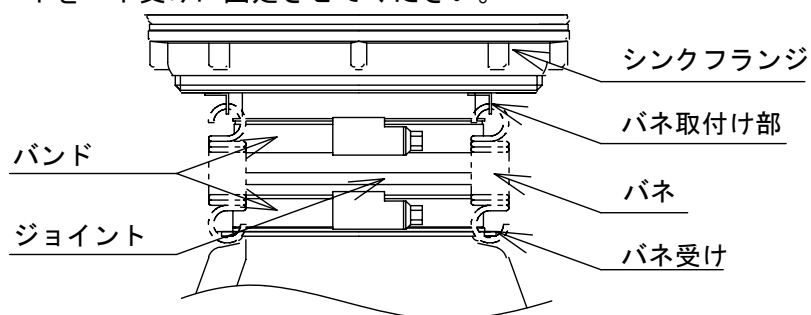


#### 4. 3 本体の取付け

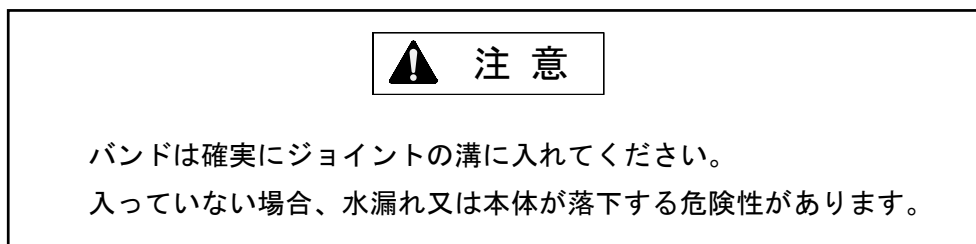
- (1) 流し台の底板に毛布などの養生をして、その上にジャッキを置いてください。  
(流し台の底板が弱い場合は、厚い板を敷くなどして補強してください。)
- (2) ジャッキの上に本体を乗せて、シンクフランジの下方に置いてください。  
(基本的にノズルの方向はシンクの裏側になるようにしてください。)
- (3) 本体をジャッキで押し上げ、ジョイントをシンクフランジにはめてください。  
その際ジョイントの内側を水で濡らすとスムーズに入ります。



- (4) シンクフランジに設置されている3箇所のバネ取付け部にバネを引っ掛けてください。  
その後、バネをバネ受けに固定させてください。



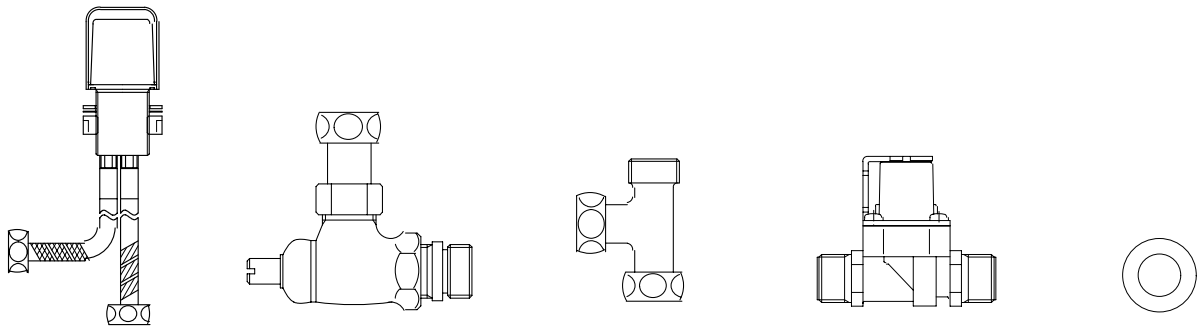
- (5) 吐出管の向きを決めて、バンドを締付けてください。  
バンドが全周ジョイントの溝に入っていることを確認してください。  
バンドをしっかり締付けてください。



- (6) ジャッキを外してください。

#### 4. 4 バキュームブレーカの取付け

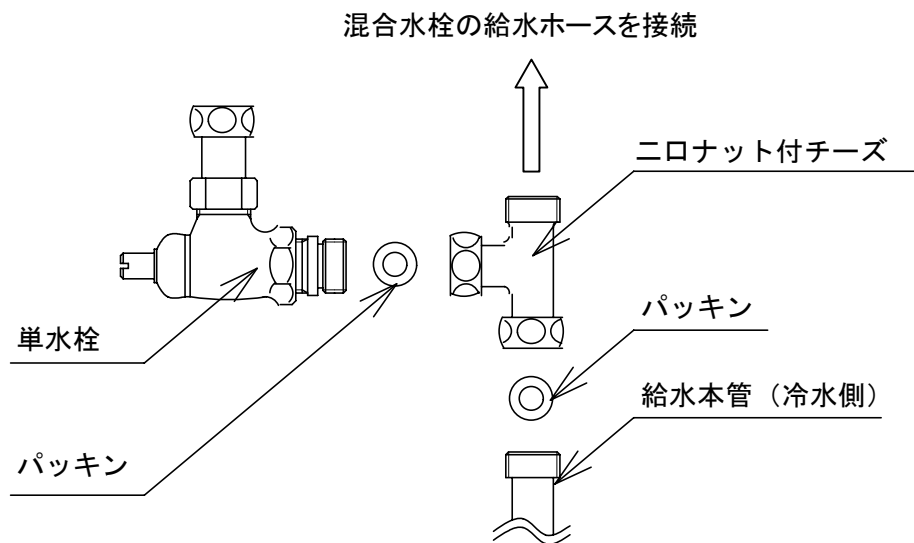
(1) 次の部品があることを確認してください。



バキュームブレーカ 単水栓(ユニオン付) ニロナット付チーズ 電磁弁 パッキン(3枚)  
(パッキン2枚付)

#### (2) 単水栓の取付け

- ① 単水栓をニロナット付チーズに付けてください。
- ② ①を給水本管(冷水側)に固定してください。  
ナットの中に、パッキンがあることを確認してください。
- ③ ナットを締付けて止水栓の方向を決め、固定してください。

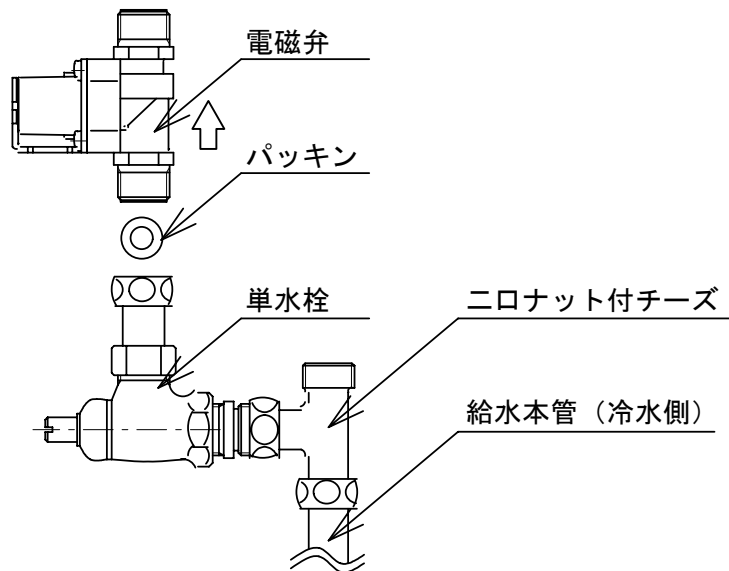


#### (4) 電磁弁の取付け

電磁弁を両ナットユニオンに固定してください。

必ず、パッキンを間に挟んでください。

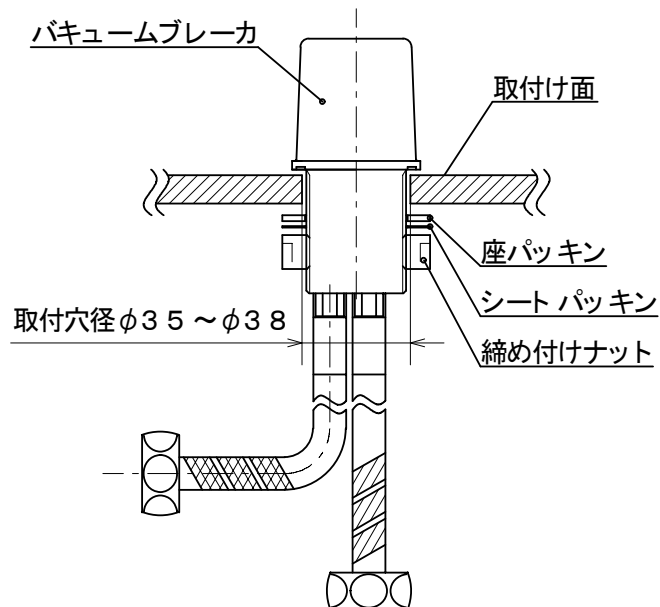
**注意)** 電磁弁には、取付け方向があります。電磁弁の裏側に矢印が記されていますので、流れの方向に合わせて取付けてください。



#### (5) バキュームブレーカの取付け

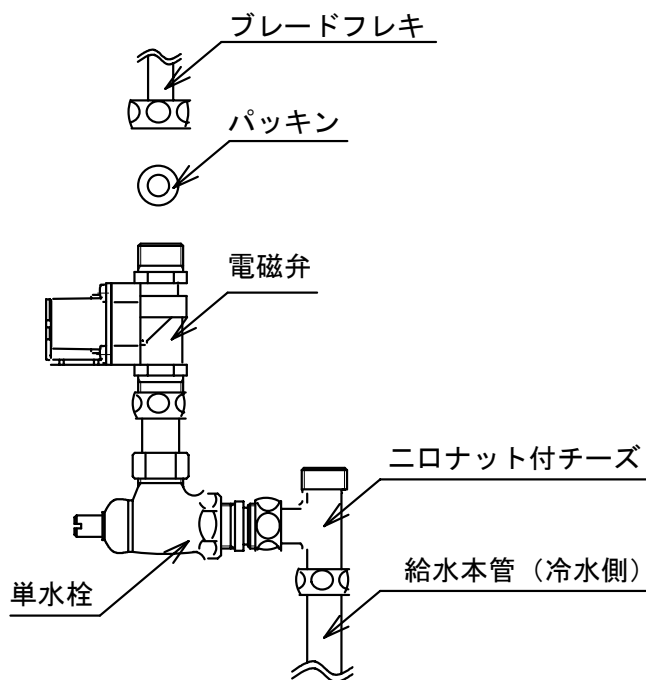
①バキュームブレーカ本体を取付け穴に通します。

②バキュームブレーカを締め付けナットで固定します。



(6) ブレードホースの接続

①電磁弁にブレードホース（青い表示色帯）を接続します。



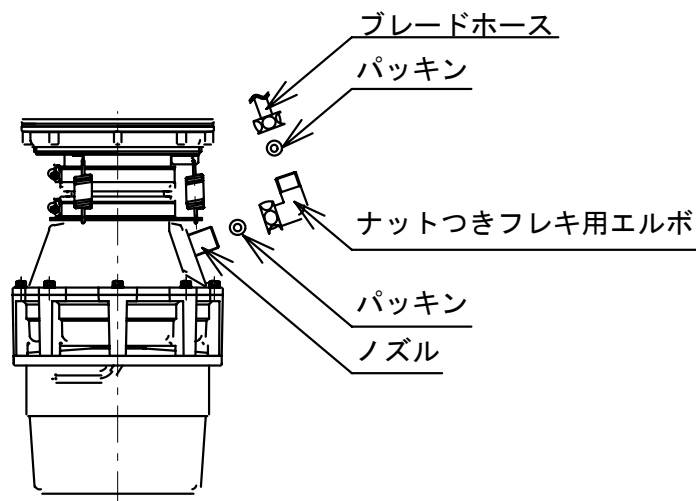
②ノズルにナットつきフレキ用エルボを接続してください。

その時、必ずパッキンを間に挟んでください。

ナット付きフレキ用エルボにブレードホース（赤い表示色帯）を接続します。

その時、必ずパッキンを間に挟んでください。

**注意）** ノズルにナットつきフレキ用エルボを接続するときはノズルに負荷がかからないようにしてください。

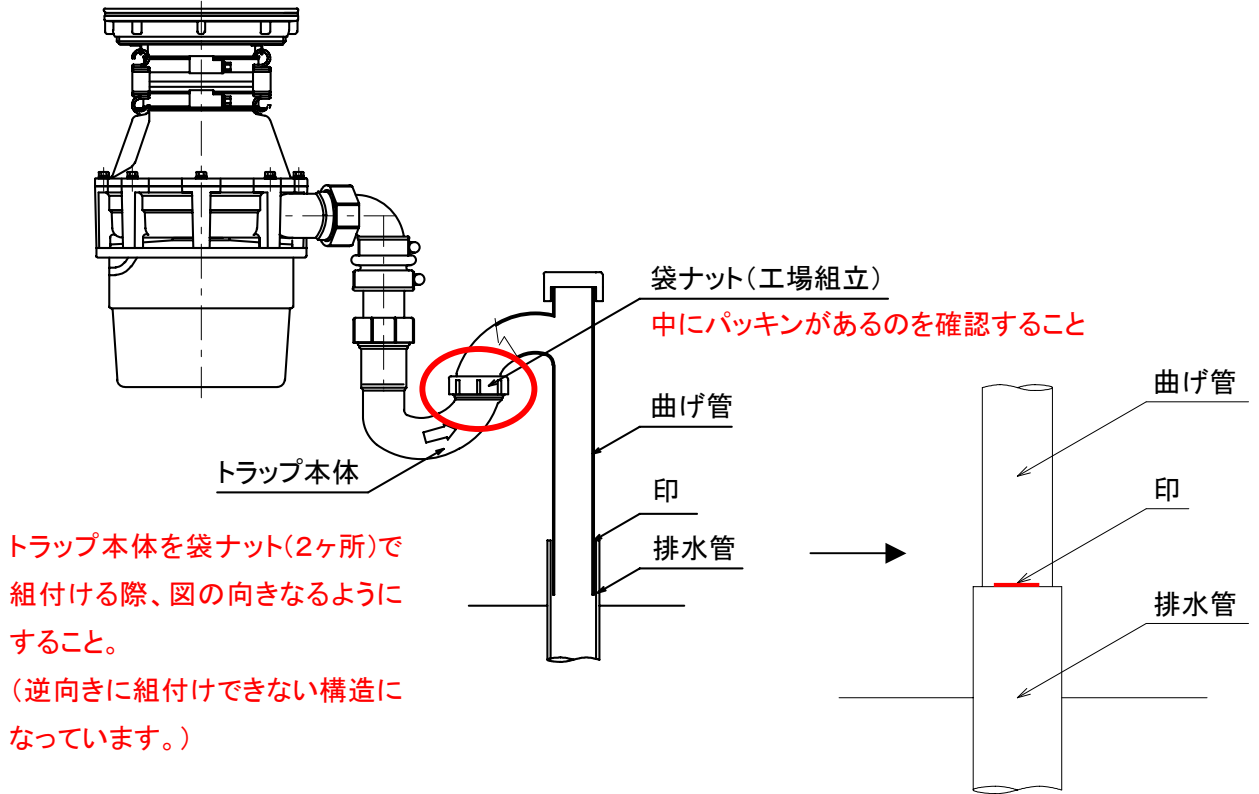


#### 4. 4 トラップの取付け

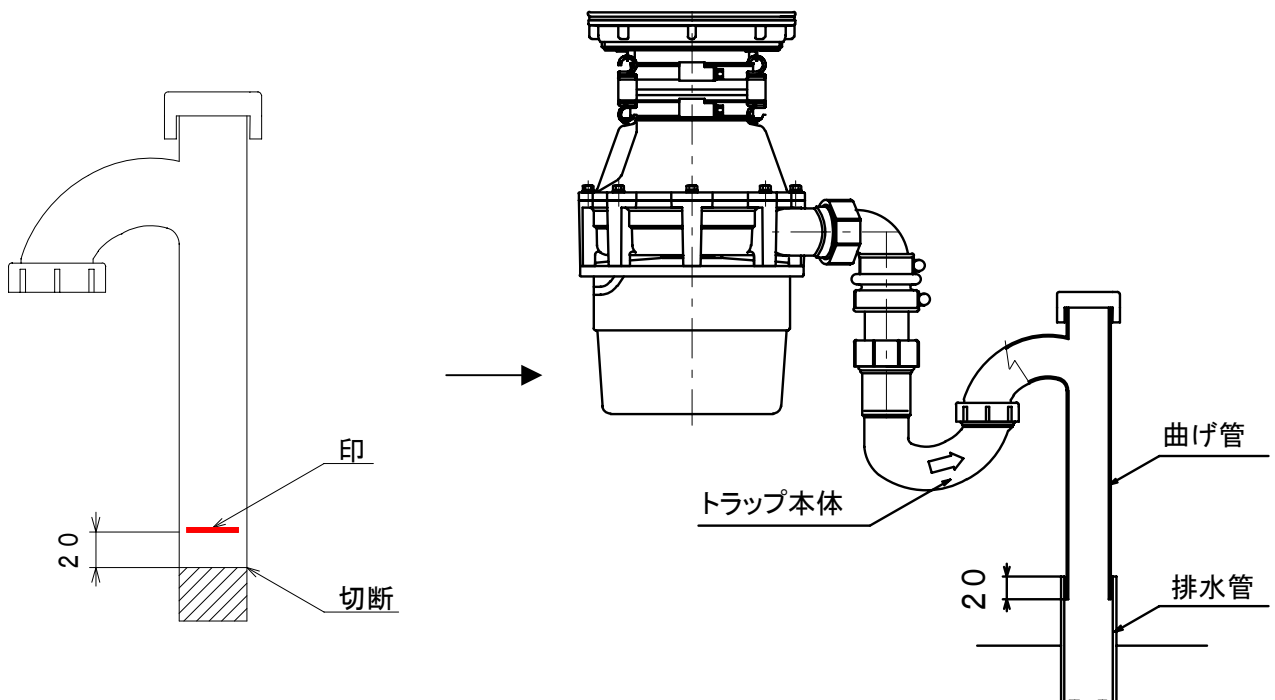
##### 4. 4. 1 Sトラップの場合

①曲げ管の袋ナットの中にパッキンが入っていることを確認し、トラップを仮組みします。トラップの曲げ管の長さを調整するため、図のように曲げ管にペンで印をつけてください。

(色は何色でも可)

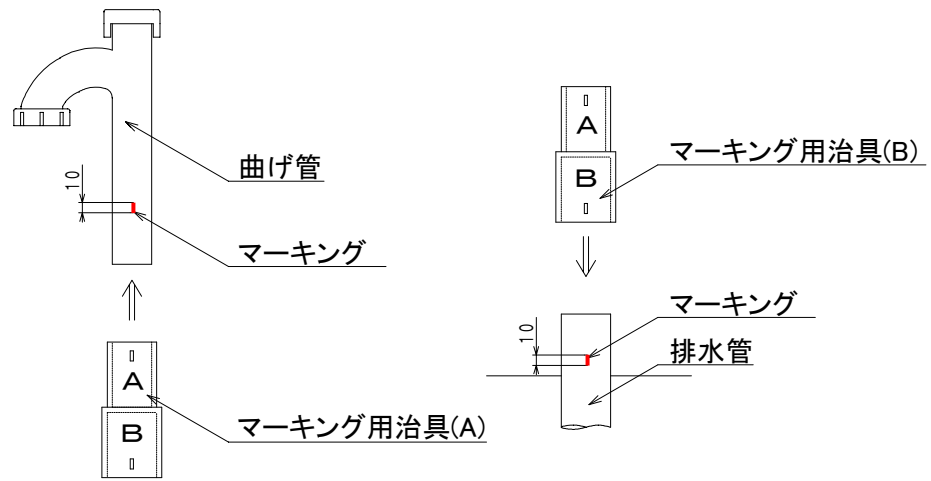


②曲げ管に印を付けた箇所から 20mm 残して切断してください。

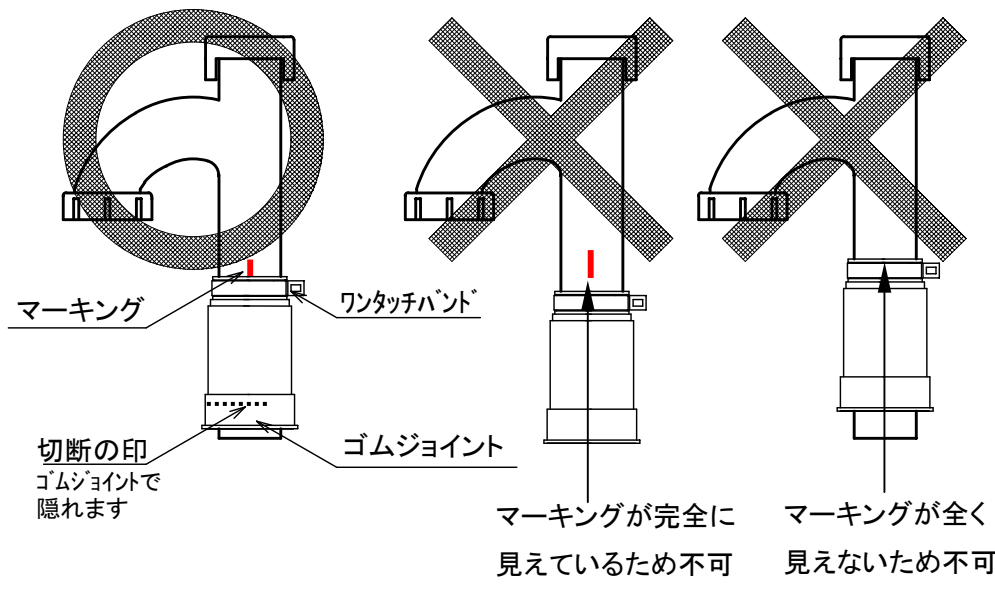


組み立てたら排水管が曲げ管を 20mm 呑み込んだ形になります。

③マーキング用治具(A)を用いてトラップ曲げ管にマーキングします。同様にマーキング治具(B)を用いて排水管にマーキングしてください。



① トラップ曲げ管のマーキング箇所が半分隠れるようにゴムジョイントを差し込み、ワンタッチバンドで締付けてください。マーキング全体が見えているものや全く見えないものは不可です。

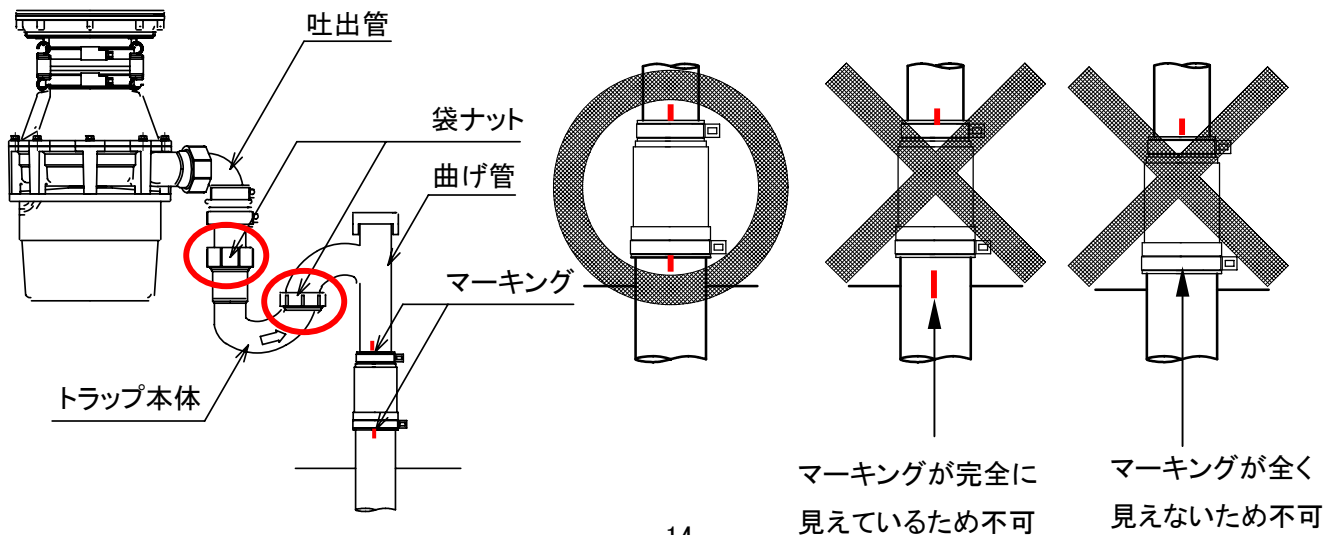


ワンタッチバンド  
澤久工業株式会社製  
CLIC R96-440、CLIC R96-545

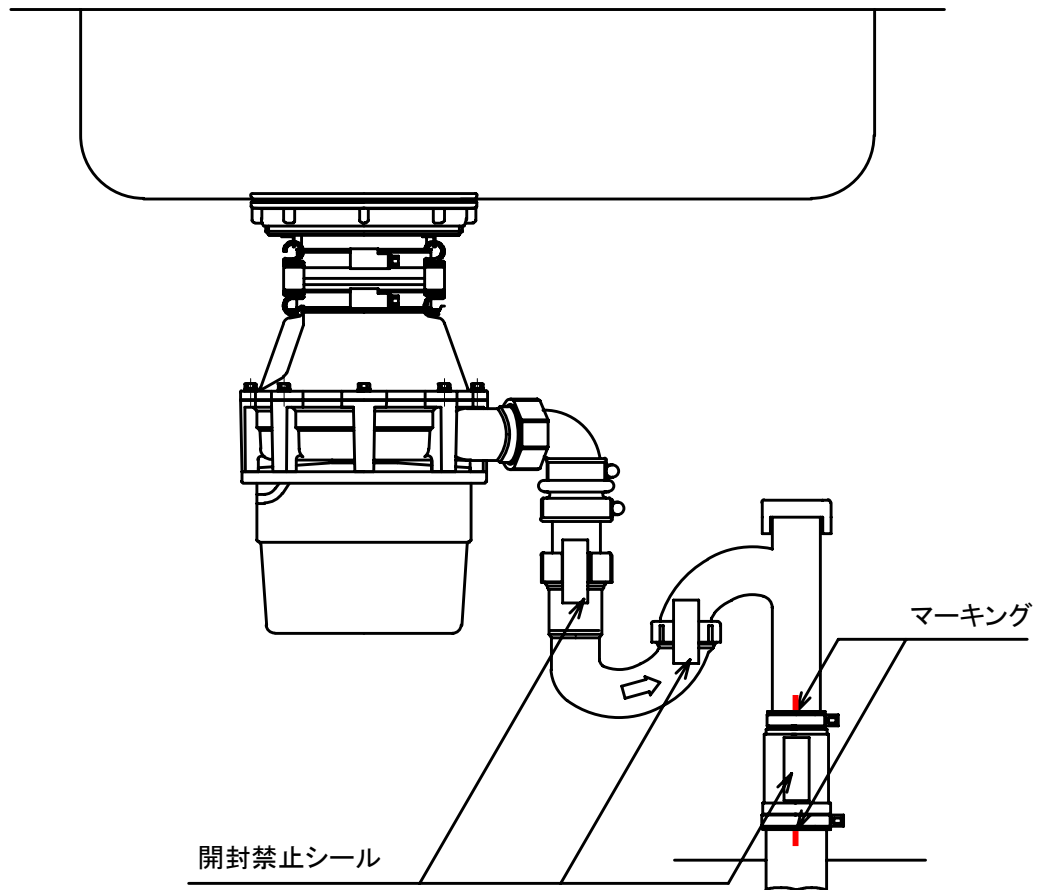


ゴムフレキ

② 排水管のマーキングが半分隠れるようにゴムジョイント部を排水管に差し込み、ワンタッチバンドで締付けてください。トラップ本体を吐出管・曲げ管に確実に差し込み、袋ナットを手締めで確実に締付けてください。



③ 袋ナットに開封禁止のシールを貼付けてください。



④ 以下を確認して作業を完了してください。

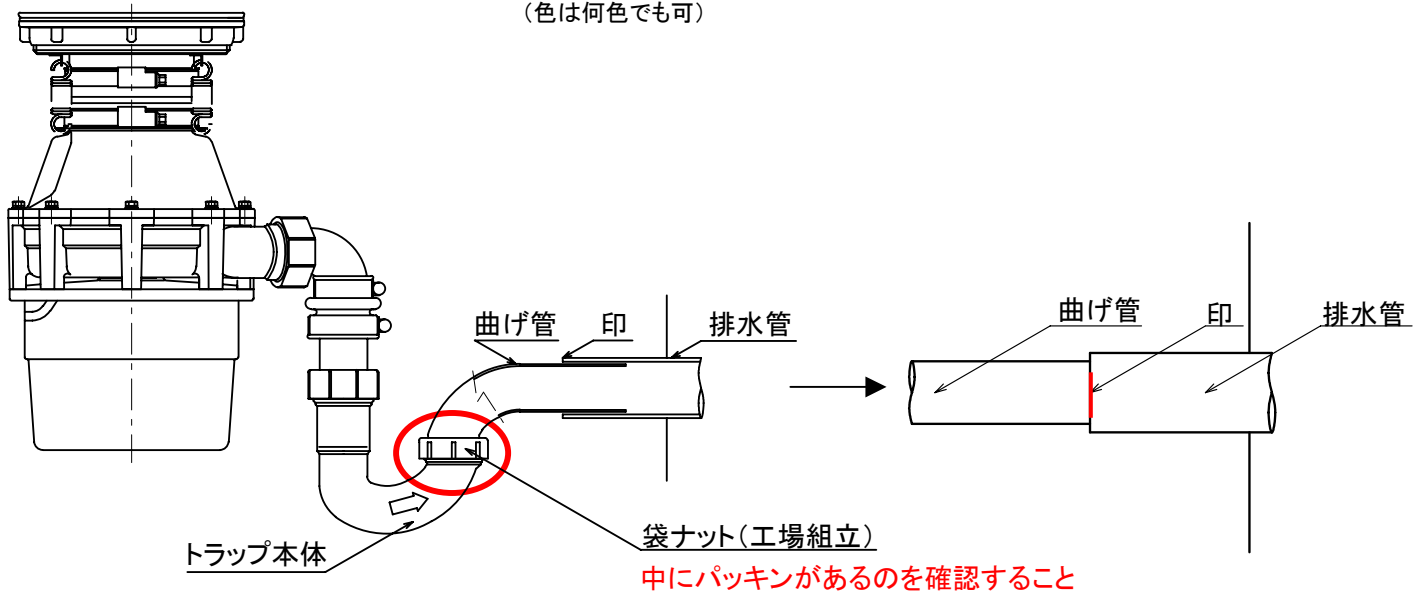
- トラップの曲げ管及び排水管のマーキングが正常であること。
- トラップの袋ナットに開封禁止シールを貼り付けていること。
- 切断した曲げ管の切れ端などのゴミが無いこと。



#### 4. 4. 2 Pトラップの場合

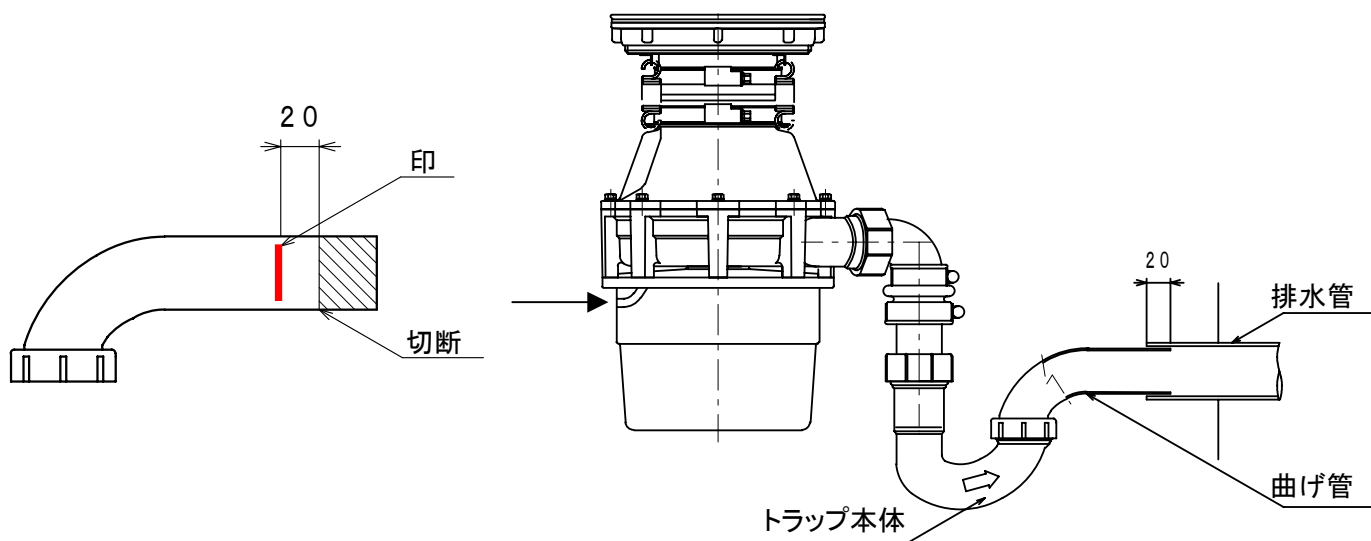
- ①曲げ管の袋ナットの中にパッキンが入っていることを確認し、トラップを仮組みします。トラップの曲げ管の長さを調整するため、図のように曲げ管にペンで印をつけてください。

(色は何色でも可)



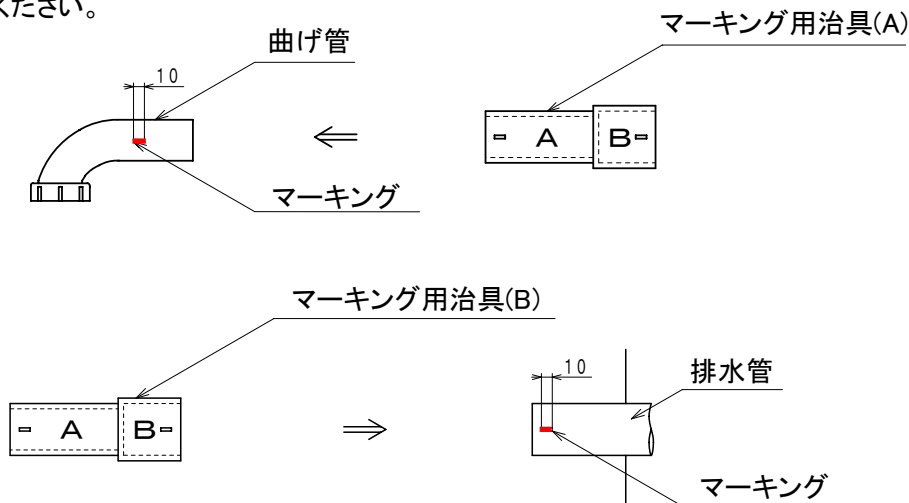
トラップ本体を袋ナット(2ヶ所)で組付ける際、図の向きなるようにすること。  
(逆向きに組付けできない構造になっています。)

- ②曲げ管に印を付けた箇所から 20mm 残して切断してください。

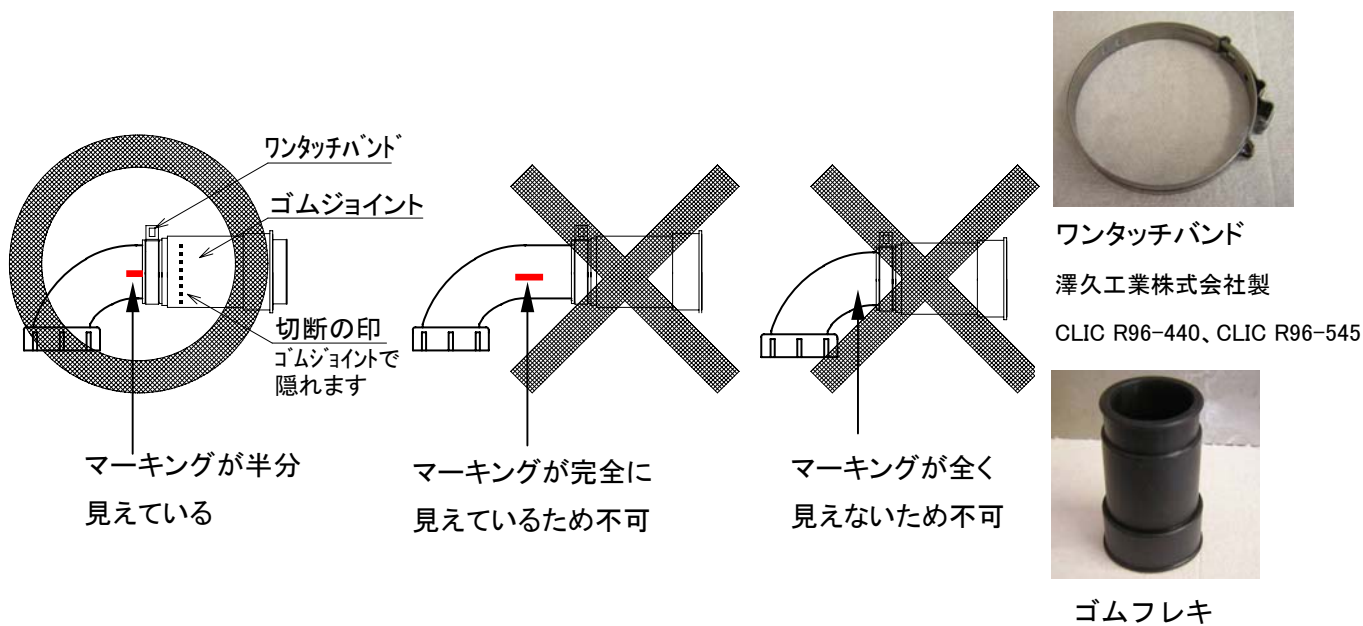


組み立てたら排水管が曲げ管を 20mm 呑み込んだ形になります。

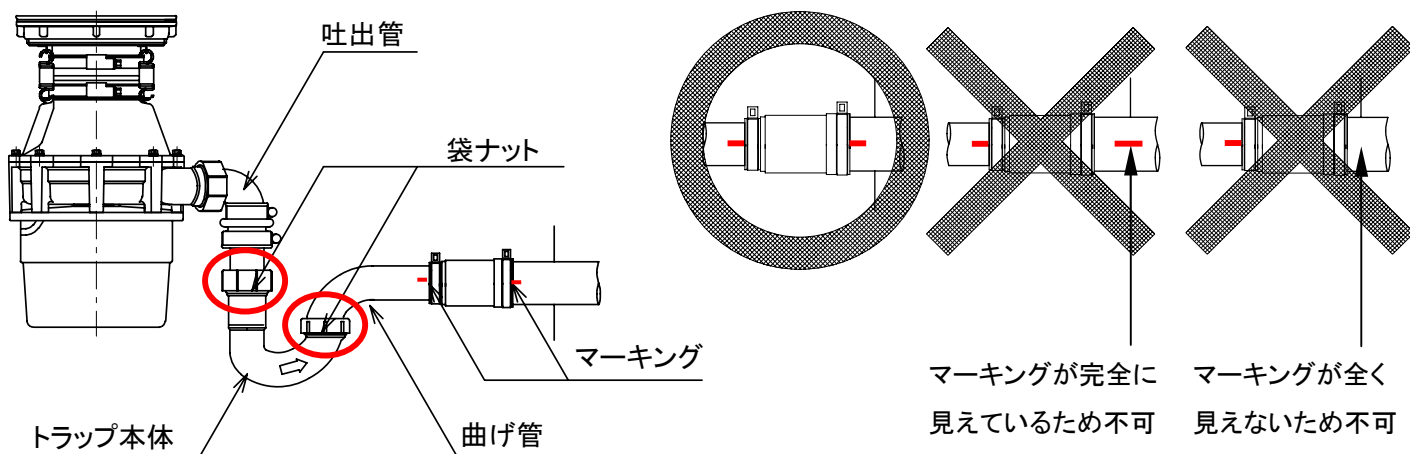
③マーキング用治具(A)を用いてトラップ曲げ管にマーキングします。同様にマーキング治具(B)を用いて排水管にマーキングしてください。



④トラップ曲げ管のマーキング箇所が半分隠れるようにゴムジョイントを差し込み、ワンタッチバンドを専用工具(ペンチ、プライヤでも可)で締付けてください。マーキング全体が見えているものや全く見えないものは不可です。

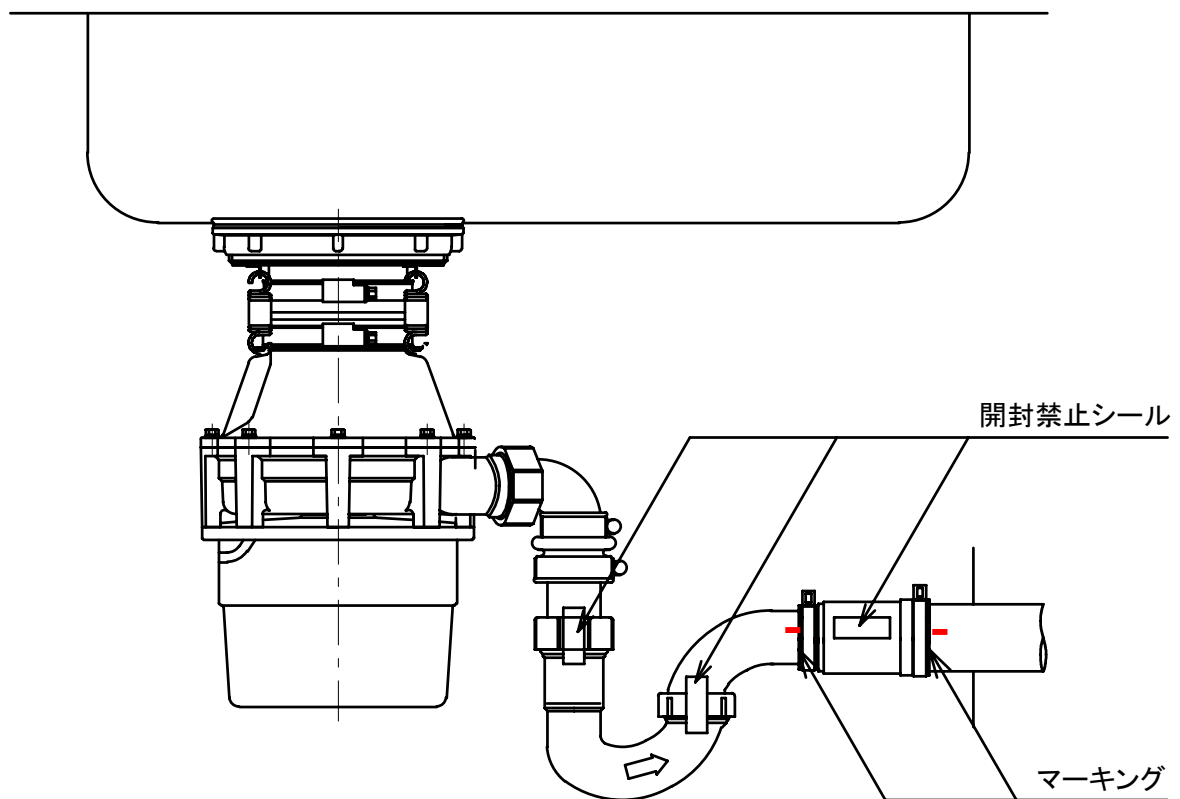


⑤排水管のマーキングが半分隠れるようにゴムジョイント部を排水管に差し込み、ワンタッチバンドで締付けてください。トラップ本体を吐出管・曲げ管に確実に差し込み、袋ナットを手締めで確実に締付けてください。



⑥袋ナット、ワンタッチバンドに開封禁止のシールを貼付けてください。

※開封禁止シールの貼付けはマーキングが隠れないようにしてください。



⑦以下を確認して作業を完了してください。

- トラップの曲げ管及び排水管のマーキングが正常であること。
- トラップの袋ナット、ワンタッチバンドに開封禁止シールを貼付けていること。
- 切断した曲げ管の切れ端などのゴミが無いこと。

#### 4. 6 配線の接続

##### (1) センサーケーブルの接続

センサーケーブルとディスプレイ側から出ているケーブルを接続します。

※この時、センサーケーブルのA側がシンクフランジの「ON」マーク側、  
B側が「洗」マーク側になっていることを確認してください。



##### (2) 電磁弁ケーブルの接続

電磁弁に接続したケーブルはモータカバー底の電磁弁用コンセントに接続してください。

##### (3) アース線の接続

電源プラグから出ているアース線は、アース付コンセントに接続してください。

##### (4) 電源プラグの接続

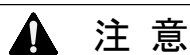
電源プラグをコンセントに接続してください。

**注意)** 周囲に干渉しないように配線してください。

## 5. 試運転

### 5. 1 試運転前の確認

- (1) ディスポーザ内部に異物が入っていないことを確認してください。
- (2) アース線が接続されていることを確認してください。
- (3) ロックナット、バンド、吐出管のボルト、トラップの締付ナットがしっかり締まっていることを確認してください。
- (4) 本体に傾き、緩み、がたつき等ないこと、破損、傷等がないことを確認してください。



工事が終わりましたら、必ず試運転を行ってください。この時、据付け、配管工事、配線工事が「据付説明書」通りになっているか確認のうえ実施してください。

### 5. 2 試運転方法

- (1) ディスポーザの電源プラグをコンセントに差し込んでください。  
アース線の接続前に電源プラグをコンセントに差し込みますと、感電の原因になります。
- (2) 次の方法で水漏れのないことを確認してください。
  - ①平ゴム等で排水口をふさぎシンクに10cmほど水を溜め5分以上保持する。  
排水後、シンク接続部やトラップ接続部から水漏れが無いか確認する。
  - ②水を流しながらディスポーザを運転し、シンク接続部やトラップ接続部から水漏れが無いか確認する。

(3) 以下のことを確認してください。

操作項目	動作確認項目
①蓋を『OFF』の位置に入れる	運転しない。
②蓋スイッチの「△」印を「OFF」に合わせ、「ON」の位置まで回し、ディスポーザを運転させる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・異常音、異常振動がない。</li> <li>・電子音「ピー」が鳴り、給水開始する。</li> <li>・給水開始後、2秒後にディスポーザが運転する</li> <li>・ジェットフラッシュの水溜めが破碎室内の半分以上である。</li> <li>・ジェットフラッシュの水溜め時に電子音「ピピッ ピピッ …」が鳴る。</li> <li>・自動停止時に電子音「ピーピーピー」が鳴る。</li> </ul>
③蓋スイッチの「△」印を「洗」に合わせ、フランジの「△」印と合わせるように右に回し、ディスポーザを運転させる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ジェットフラッシュの水溜めが破碎室内の半分以上である。</li> <li>・ジェットフラッシュの水溜め時に電子音「ピピッ ピピッ …」が鳴る。</li> <li>・自動停止時に電子音「ピーピーピー」が鳴る。</li> </ul>
④②の運転中に蓋を「OFF」の位置に回す。	ディスポーザと給水が停止する。
⑤②で運転開始前(電子音が鳴る前)に蓋を「OFF」の位置にする。	動作しない。
⑥③の運転中に蓋を「洗」の位置に回す。	ディスポーザと給水が停止する。
⑦③で運転開始前(電子音が鳴る前)に蓋を「洗」の位置にする	動作しない。

## 6. 片付け

設置工事が完了したら、以下を確認して作業を終了します。

- ・ シンク内の水滴を拭き取ること。
- ・ ディスポーザ、流量スイッチの梱包材やトラップを切断した切れ端などのゴミは、必ず持ち帰ること。
- ・ ウェスや養生シートなど、工具類も忘れず持ち帰ること。





# テラル株式会社

www.teral.net

<b>本 社</b>	広島県福山市御幸町森脇230	〒720-0003	TEL.084-955-1111	FAX.084-955-5777
<b>東京支社</b>	東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル	〒112-0004	TEL.03-3818-8101 TEL.03-5805-1311 TEL.03-3818-7800 TEL.03-3818-7766 TEL.03-3818-7800 TEL.03-3818-7799 TEL.03-3818-7764 TEL.03-3818-6846 TEL.03-6891-7800 TEL.03-6891-7800	FAX.03-3818-6798 FAX.03-3818-6798 FAX.03-3818-5031 FAX.03-3818-5031 FAX.03-3818-5031 FAX.03-3818-5031 FAX.03-5684-0218 FAX.03-3818-5031 FAX.03-3818-5031 FAX.03-3818-5031
<b>東北支店</b>	仙台営業所 仙台市宮城野区銀杏町39-25 札幌営業所 札幌市中央区北11条西23丁目1-3 北東北営業所 盛岡市津志田南2丁目12-27 郡山営業所 郡山市島1丁目13-9	〒983-0047 〒060-0011 〒020-0839 〒963-8034	TEL.022-232-0115 TEL.011-644-2501 TEL.019-601-8818 TEL.024-922-5122	FAX.022-238-9248 FAX.011-631-8998 FAX.019-601-8819 FAX.024-922-4226
<b>北関東支店</b>	大宮営業所 さいたま市見沼区大和田町2-1018-2 新潟営業所 新潟市中央区山二ツ5丁目6-21 長岡営業所 長岡市宮開3丁目1-21 水戸営業所 水戸市白梅4丁目2-16 土浦営業所 牛久市ひたち野西4丁目22-3 オーシャンパドラー フロアC 宇都宮営業所 宇都宮市鶴田町3333番地18 前橋営業所 前橋市元総社町84-3	〒337-0053 〒950-0922 〒940-2021 〒310-0804 〒300-1206 〒320-0851 〒371-0846	TEL.048-681-7822 TEL.025-287-5032 TEL.0258-29-1725 TEL.029-224-8904 TEL.029-870-2760 TEL.028-346-3400 TEL.027-253-0262	FAX.048-681-7082 FAX.025-287-3719 FAX.0258-29-2369 FAX.029-231-4044 FAX.029-870-2761 FAX.028-346-9432 FAX.027-253-0278
<b>東京支店</b>	城東第1・第2営業所 東京都文京区後楽2丁目3-27 テラル後楽ビル 城西第1・第2営業所 アクアシステム関東営業所 東京開発グループ 立川営業所 立川市幸町3丁目32-9 千葉営業所 千葉市中央区今井町1493-4 アクアシステム千葉営業所 横浜第1・第2営業所 横浜市神奈川区新浦島町1丁目1-25(テクノウェイブ100 10F)	〒112-0004 〒190-0002 〒260-0815 〒221-0031	TEL.03-3818-6751 TEL.03-3818-7769 TEL.03-3818-6752 TEL.03-5684-0238 TEL.03-3818-6846 TEL.042-536-2714 TEL.043-264-5252 TEL.043-264-7300 TEL.045-450-5351	FAX.03-3818-6763 FAX.03-3818-6763 FAX.03-3818-6763 FAX.03-5684-0218 FAX.03-3818-6763 FAX.042-538-7080 FAX.043-226-7353 FAX.043-264-7332 FAX.045-450-5352
<b>北陸支店</b>	金沢営業所 金沢市松島2丁目18 富山営業所 富山市田中町2丁目10-24 福井営業所 福井市問屋町3丁目501番地(ウイング八田101号)	〒920-0364 〒930-0985 〒918-8231	TEL.076-240-0350 TEL.076-433-2151 TEL.0776-28-5361	FAX.076-240-0357 FAX.076-432-8234 FAX.0776-28-5362
<b>中部支店</b>	名古屋営業所 名古屋市中区伊勢山1-1-19(名古屋急送ビル 6F) 名古屋環境システム課 名古屋産業システム課 産業システム開発課 アクアシステム中部営業所 静岡営業所 静岡市駿河区豊田3丁目2-15 沼津営業所 沼津市若葉町3-10 浜松営業所 浜松市東区丸塚町132-1 岐阜営業所 岐阜市六条南3丁目7-11	〒460-0026 〒422-8027 〒410-0059 〒435-0046 〒500-8358	TEL.052-339-0871 TEL.052-339-0875 TEL.052-339-0891 TEL.052-339-0891 TEL.052-332-6510 TEL.054-285-3201 TEL.055-923-1377 TEL.053-463-1701 TEL.058-271-6651	FAX.052-339-0895 FAX.052-339-0895 FAX.052-339-0895 FAX.052-339-0895 FAX.052-332-6513 FAX.054-284-1831 FAX.055-923-3449 FAX.053-464-1818 FAX.058-274-7379
<b>大阪支店</b>	大阪営業所 大阪市西区靱本町1丁目11-7(信濃橋三井ビル3F) アクアシステム近畿営業所 大阪開発チーム 大阪環境システム課 大阪施工管理課 大阪産業システム課 ソリューション技術大阪C 南大阪営業所 堺市北区百舌鳥梅町3丁目47-1(グレース中百舌鳥トキワ2A号室) 滋賀営業所 守山市守山2丁目16-38-103 京都営業所 京都市伏見区竹田中川原町359番地(TMKビル 1F) 神戸営業所 神戸市中央区多聞通2丁目4-4(ブックローン神戸ビル 7F) 姫路営業所 姫路市栗山町111	〒550-0004 〒591-8032 〒524-0022 〒612-8412 〒650-0015 〒670-0954	TEL.06-7711-8882 TEL.06-7711-8883 TEL.06-7711-8887 TEL.06-7711-8885 TEL.06-7711-8885 TEL.06-7711-8884 TEL.06-7711-8886 TEL.072-253-4391 TEL.077-583-3666 TEL.075-647-1550 TEL.078-382-1991 TEL.079-281-5511	FAX.06-7711-5554 FAX.06-7711-5554 FAX.06-7711-5554 FAX.06-7711-5554 FAX.06-7711-5554 FAX.06-7711-5554 FAX.06-7711-5554 FAX.072-253-6966 FAX.077-583-3685 FAX.075-647-1537 FAX.078-382-1993 FAX.079-281-1487
<b>中国支店</b>	広島営業所 広島市西区三篠町3-12-21(第2ベルビイ三篠 1F) 福山営業所 福山市御幸町森脇337-2 米子営業所 米子市上福原5丁目1-50 岡山営業所 岡山市北区上中野2丁目24-14	〒733-0003 〒720-0003 〒683-0004 〒700-0972	TEL.082-537-0660 TEL.084-961-0222 TEL.0859-32-2970 TEL.086-241-4221	FAX.082-537-0678 FAX.084-961-0211 FAX.0859-32-2971 FAX.086-241-4230
<b>四国支店</b>	高松営業所 高松市東八ヶ町4-5 松山営業所 松山市朝生田町2丁目1-33	〒761-8054 〒790-0952	TEL.087-867-4040 TEL.089-935-4335	FAX.087-867-4042 FAX.089-935-4331
<b>九州支店</b>	福岡第1・第2営業所 福岡市博多区山王1丁目6-3 北九州営業所 北九州市小倉北区中井5丁目11-13 久留米営業所 久留米市山川追分1丁目4-24 大分営業所 大分市仲西町1丁目10-15 熊本営業所 熊本市東区上南部2丁目7番12号 アクアシステム九州営業所 長崎営業所 長崎市大橋町7-5(横山ビル 1F) 宮崎営業所 宮崎市大字芳土870 鹿児島営業所 鹿児島市荒田2丁目59-11	〒812-0015 〒803-0836 〒839-0814 〒870-0135 〒861-8010 〒852-8134 〒880-0123 〒890-0054	TEL.092-474-7161 TEL.093-571-5731 TEL.0942-88-5825 TEL.097-551-1857 TEL.096-380-8388 TEL.095-848-2221 TEL.0985-39-1577 TEL.099-253-4321	FAX.092-474-7167 FAX.093-591-0192 FAX.0942-88-5823 FAX.097-552-0589 FAX.096-380-1795 FAX.096-388-6616 FAX.095-848-5137 FAX.0985-39-1089 FAX.099-253-4325

●駐在所 長野、徳島、高知、山口、沖縄

修理・サービスのご利用は最寄りの支店・営業所へご連絡ください。

テラルテクノサービス株式会社